

種名	<p><b>アカツクシガモ</b></p> <p><b><i>Tadorna ferruginea</i></b></p> 												
分類	ガンカモ目 ガンカモ科												
特徴	<p>全身キツネ色で尾羽と風切羽が黒く雨覆が白い大形のカモ類。ユーラシア大陸中部に繁殖地を持ち、日本に稀な冬鳥として渡来し、本州、四国、九州、沖縄などに記録がある。1、2羽の記録が多いが、1981～1982年にかけての冬には千葉県に12羽が渡来した。動物園などで飼育されていたものが逃げ出して野外で見られることもあるので注意を要する。</p>												
生活	<p>日本では内陸の湖や沼、川岸の泥地などに棲息し、ツクシガモと比較すると、干潟に出ることは少ない。日中は安全な水面に浮かび休息していることが多く、朝や夕方に餌をとる。湿地の地上を歩きながら水草などの植物物質のものを食べ、動物の死体なども食べることもある。繁殖地では湖沼から乾燥した荒地まで、いろいろな環境に棲息する。</p>												
声	<p>ネパールのチトワン国立公園で1月と3月に、越冬中のアカツクシガモの群れが「ゴァーゴァー」というような声で鳴きかわすのを聞いた。昼間より夜間の方がよく鳴き交わっていた。</p>												
見分け方	<p>地上や水面上に下りているときは全身キツネ色に見え、くちばしと脚は黒い。飛ぶと、雨覆の白と黒い風切とのコントラストが鮮やかである。</p>												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	9	10	11	12
その他	全長(L)64cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													